

お客様のお役に立ちたい。第一興商のコミュニケーションマガジン。

## ワインって、 カンタン!

格式張っていてむずかしいイメージがつきまといがちなワイン。

おまけに、国内で入手可能な銘柄は8,000種を超すといえますから、「扱おうにもちょっと…」という方も多いのでは?

しかし、お店にとってのメリットや保管方法、銘柄選びのコツなどを知れば、意外にも身近で魅力的な商材なんですよ。



### メリットを知る 1

## イメージをうまく利用して、 客単価をUP!!

すでにワインを扱っているお店に利点を伺うと、「客単価を上げやすい」という声が圧倒的。その高級なイメージゆえに、なんらかのお祝いごとと絡めてオーダーに繋げやすいというのです。また、「赤は肉、白は魚」というように、食と関わりの深い飲み物というイメージからフードのご注文もいただきやすいそう。さらに、ナイト店といえど焼酎かウイスキーというイメージが強いので、ワインを扱うことで競合店との差別化が図れるというメリットも。もちろん、赤ワインの「ポリフェノール」、白ワインの「有機酸」等、健康的なイメージも活用できます。

### メリットを知る 2

## 大がかりな設備は不要& 意外と楽な取り回し

ワインは振動や温度変化にとっても敏感で味が変わりやすいお酒。そのため、よくワインセラーが用いられているわけですが、実は必需品ではありません。きちんと管理されていたものを仕入れさえすれば、提供までの期間が短い飲食店のような業種においては、大きな問題にはならないのです。冷蔵庫で保管しても良いなら、設備面のコストは抑えられますから、随分と身近な存在に思えてきませんか。その他、グラスに注ぐだけでよかったり、ボトルキーブの管理が不要だったり、日々の取り扱いにおけるメリットもさまざまです。

### ワインの選び方

## 難しいこと抜き!! 「自分好み」がベストな銘柄

ワインをウリにしているお店のママは口を揃えてこう言います。「銘柄を決める基準は自分の好みかどうか」。お客様からの強いご要望を除けば、ブランドにこだわらなくても良いということです。好みのワインであれば自然と魅力を伝えられますし、会話が弾めばお酒が進むということなのでしょう。次ページでは、そんな自分好みの1本を見つけるためのコツをご紹介します。





# ボトルの形で味がわかる! 基本の6種を覚えましょう!!



監修: 友田 晶子 (ともだ あきこ)

日本を代表するソムリエ。日本酒や焼酎等への造詣も深く、トータル飲料コンサルタントとして活躍中。近著に「今宵も一杯 (阪急コミュニケーションズ)」ほか、著書多数。  
<http://www.akikotomoda.com/>

図の見方 ★ そのボトルタイプにおける「味の王道」を表す。● 各タイプにおける「味のバリエーション」をおおまかに表す。

### 赤の基本3種

**Chianti**  
ボトル下部がワラに包まれた  
● **キアンティ型**  
最近では少なくなってきているが、さらさらと軽やかに飲める赤はこのタイプが随一。

**Bourgogne**  
なで肩で安定感のある  
**ブルゴーニュ型**  
渋みよりも酸味を楽しみたい人にオススメ。

**Bordeaux**  
肩の張った  
● **ボルドー型**  
渋みが強く、濃厚な味わいを楽しみたい人にオススメ。

### 白の基本5種

**Alzace**  
長身で暗緑色の  
**アルザス型**  
辛口でアルコールは少し高め。しっかりとした飲み応えが感じられる。

**Rhine**  
長身で茶色の  
● **ライン型**  
ジューシーでフルーティー。形の似ているモーゼル型より、少々コクがある。

**Bourgogne**  
なで肩で安定感のある  
**ブルゴーニュ型**  
濃厚なものが多いが、価格帯は少々高め(ボトル形状は赤と同じ)。

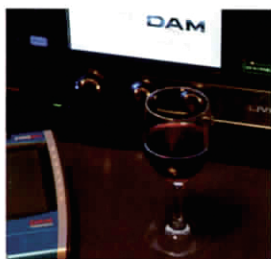
**Bordeaux**  
肩の張った  
● **ボルドー型**  
すっきりさわやかな辛口タイプ。ただし、一部濃厚な甘口も(ボトル形状は赤と同じ)。

**Moser**  
長身で薄い緑色の  
● **モーゼル型**  
ライン型よりもフルーティーな味のものが多い。

最後に 上記はあくまでも「こういう傾向がある」というもの。しかし、このルールさえ知っておけば、少なくともワインショップでぼう然となることはなくなるはず。そうしていくつか試すうちに、自分の好みによりはつきりするでしょうし、いろいろなものに興味が芽生えてくるかもしれません。そんな時こそ、迷わず店員さんに相談を。

(株) 第一興商 通信カラオケDAM調べ

## タイトルに「ワイン」が入っている カラオケ曲ランキングTOP10



断トツの支持を集めたのは「ワインレッドの心」。1983年に安全地帯によって発表されて以降、男女問わず多くのアーティストにカバーされてきた名曲だけに、アレンジは多彩。調べておけば、お客様とのコミュニケーションにも役立ちそうです。

順位	タイトル	アーティスト名	リクエストNo.
1	ワインレッドの心	安全地帯	1623-01
2	ワインレッドの心	井上陽水	6656-23
3	ワインレッドの心	高橋真梨子	4646-49
4	あなたに今夜はワインをふりかけ	沢田研二	2422-01
5	ワインレッドの心	玉置浩二	1805-34
6	恋人はワイン色	CHAGE & ASKA	1473-13
7	バラとワイン WINE&ROSES	RED WARRIORS	3091-01
8	Days Of Wine And Roses [酒とバラの日々]	Andy Williams	1012-05
9	WINE YEAH	MICKY RICH	1193-69
10	ワイン恋物語	スターダスト・レビュー	1453-30

※このランキングは2011年1月～11月にリクエストされた、タイトルに「ワイン」が入っている楽曲の上位10曲を抽出したものです。一部機種ではご利用頂けない場合があります。